

引き続き高温が続く見込み！ 水温、地温を下げる水管理を徹底！！

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動本部

8月13日発表の2週間気温予報によると、今後も暑さが続く予想です。

◎イネは登熟期！

この時期の高温で「白未熟粒」の発生が増加します！

登熟前半に当たる出穂後20日間の平均気温が26℃前後を超えると、玄米へのデンプンの蓄積が不十分となって「白未熟粒」が増加します。「白未熟粒」の発生は日照不足や籾数過剰、窒素栄養不足、早期落水等でさらに助長されます。

品質低下を最小限にするため、気温の低い朝夕の水の入替や飽水管理、こまめな間断かん水を行って水田の水温、地温を下げる水管理を徹底しましょう。

水のためっぱなしは、夜間の地温が下がらないだけでなく、根へのダメージが大きくなります。



背白粒



乳白粒

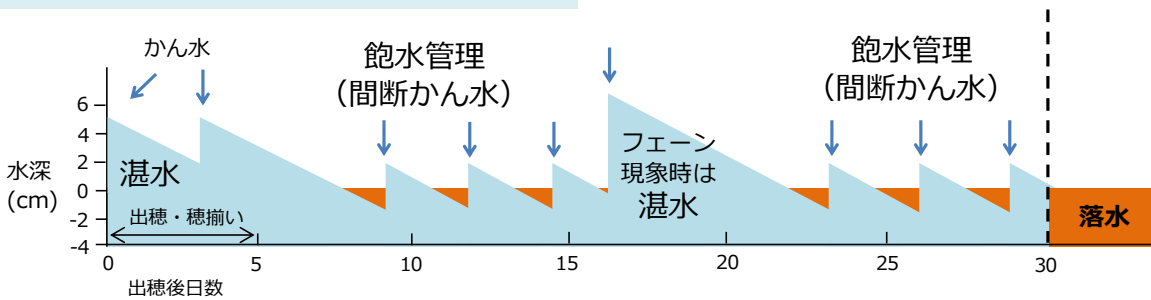


背白粒の横断面

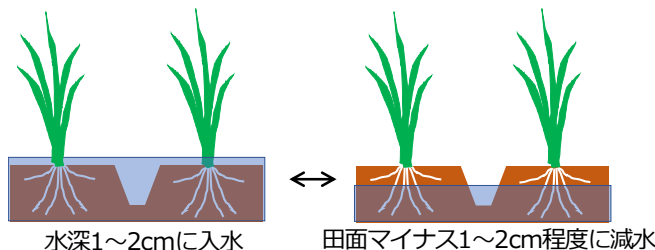


乳白粒の横断面

高温時の水管理のイメージ (出穂期以降)



飽水管理のイメージ



飽水管理の様子

湛水管理と比べて ◎夜間の地温が0.5℃程度低くなる。
◎土壌を酸化的に保つことができ、根の活力が維持される。

熱中症に十分注意してください！

休憩をまめにとり、水分補給を行いながら、無理のない作業を！